



2020年6月12日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 上田 怜史
(コード番号 6573 マザーズ)
問合せ先 取締役副社長 石動 力
(TEL 03-6435-7130 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年2月7日に公表いたしました2020年12月期連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2020年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	469	△46	△48	△48	△23.34
今回修正予想 (B)	325	△126	△126	△127	△60.99
増減額 (B-A)	△144	△79	△78	△78	
増減率 (%)	△30.69	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年12月期)	413	△67	△74	△64	△31.36

2. 修正の理由

売上に関しましては、新型コロナウイルス感染症の問題が顕在化した本年2月以降、当社主力サービスであるアンバサダープログラムにおけるイベントやサンプリング、キャンペーンの中止や延期の要請がクライアントより相次ぎイベント等の実施が出来ない状態となっており、当社台湾法人におけるプロモーション活動も国内同様に影響を受けております。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は売上減少に伴うものであります。

なお、通期業績予想につきましては、下半期においても新型コロナウイルス感染症の影響が10月まで段階的に続くと想定され、既存サービスに関しては、上半期と同程度の売上と予想しておりますが、当初予想に見込んでいなかった中小規模の企業向けにアンバサダープログラムを簡易運営できる新たなサービスの開発・メニュー化を2020年6月までに終了しており、現在テスト販売中ですが既に数件の受注が発生しており、7月から新メニューとして本格投入・拡販を行います。

また、コロナ禍において導入が中断されていた「カタパルト」の新サービスの投入、非接触を念頭に動画活用の需要を捉えた「PRISM (プリズム)」のサービス需要の増加に加え、台湾市場でのビジネス環境の復調を想定しており、既存サービスにおけるコロナ禍の影響分についてはアンバサダープログラムを簡易運営する新サービスで大半を補えると判断しているため修正はいたしません。

以上を踏まえ2020年12月期第2四半期（累計）連結業績予想を修正致しました。

上記の将来に対する記述、業績予想数値は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以上